



炬火を掲げていざ謳う

No.69



# 我々の泉鳥取

2024年1月29日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

部活動列伝

書道部

## 全国高等学校総合文化祭 奨励賞を受賞

— 40期 川畑 美伽さん —



本校の玄関ホールに、大きな書道作品が飾られていたことをご存知の方も多いでしょう。これは、平成29(2017)年、本校40期生の書道部、川畑 美伽さんが、大阪府高等学校総合文化祭に「道因法師碑」の臨書を出展し、見事大阪府代表として、全国高等学校総合文化祭(宮城大会)にエントリーし、奨励賞を受賞した作品でした。泉鳥取高等学校では、書道部として初の全国大会出展となりました。この作品は、平成30(2018)年から展示されていましたが、この度、閉校を前に川畑さんにお返しすることとなりました。



この作品は初唐時代の書家欧陽通(おうようつう)が記した石碑、「道因法師碑」を臨書したものです。この石碑は現在中国の西安碑林にあり、しっかりした楷書体で、六朝時代の特徴を示します。

ちょうどこのころ、遣唐使が唐に派遣されていたため、日本の行政文書(正倉院文書等)の多くが同様の書風で書かれています。

2024年1月、返還時に川畑さんにインタビューしました。

**Q：非常に大きな作品ですが、「道因法師碑」をお手本にしようとしたのはなぜですか？**

**A：**当時、書道部は私一人だけでした。何か爪痕を残そうと、顧問の新延このみ先生と相談しながら決めていきました。このお手本は、新延先生から「これがいいのでは？」と言われて決めました。

**Q：欧陽通などは六朝様式で、楷書の中でも、固い、Edgeの効いた書体ですね。苦労した点は？**

**A：**固い書体なので、筆を3本使いました。途中でつぶれるんです。それと、大きな作品で、ものすごく集中力が必要でしたし、体力も使いました。さらに金泥を使って書いたので、色を均等にするのが難しかったです。

**Q：この作品を作って得たことは？**

**A：**集中力と忍耐力が身についたと思います。それと、やり遂げた達成感も得ることが出来ました。

**Q：泉鳥取高校が、令和7年3月に閉校となります。**

**A：**卒業生としては本当に残念です。最後の最後までお手伝いできることがあれば言ってください。

———ありがとうございました。

ちなみに、川畑さんのお姉さん(38期川畑美春さん)も本校書道部で楷書の臨書をしていました。なお、美伽さんは現在、印刷会社の社員として勤めています。



新延このみ先生

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> から pdf